

研究職員(テニユア型任期付)公募一覧表(令和3年4月)

テニユア 応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	林業研究部門 樹木分子遺伝研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	環境ストレスに対する樹木の代謝機構の解析および利用技術の開発	全ゲノム配列の解読から得られる樹木の遺伝情報の活用に向けて、環境に応答する代謝機構に関する課題を推進するため、環境ストレスに対する樹木の代謝機構の解析および利用技術を開発する。	①採用時に修士又は博士の学位を有する者。任期内にテニユア審査を受けることができる。 ②全国規模の転勤が可能な者 ③植物生理学の研究実績を有する者 ④勤務地: 研究所(つくば市)
2	森林総合研究所	林業研究部門 林業工学研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	林業労働災害の低減に向けた安全作業に関する研究	林業における労働災害の減少を図るため、情報通信技術等を活用した労働負担および作業環境の計測、労働災害の分析等を実施することで、安全で労働負担の少ない林業作業を実現するための作業方法および教育手法等を開発する。	①採用時に修士又は博士の学位を有する者。任期内にテニユア審査を受けることができる。 ②全国規模の転勤が可能な者 ③労働災害および安全作業に関する研究実績を有する者 ④勤務地: 研究所(つくば市)
3	森林総合研究所	森林研究部門 野生動物研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	森林の多面的機能、特に生物多様性の保全を目指した人工林管理技術の開発	生物多様性、特に鳥類相の保全に対する人工林の役割を解明し、より効率的、効果的に次世代へ誘導するための手法を開発する。	①採用時に修士又は博士の学位を有する者。任期内にテニユア審査を受けることができる。 ②全国規模の転勤が可能な者 ③鳥類群集と気候、土地利用のモデリングに関する研究実績を有する者 ④勤務地: 研究所(つくば市)
4	森林総合研究所	木材研究部門 森林資源化学研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	テニユア型任期付 研究員(任期3年)	化学的変換技術を応用した木材多糖類からの新規素材開発	温暖化対応に向けた循環型社会の構築や木材自給率の向上に資するため、国産材を用いた新たなマテリアル利用の推進が必要である。木材の主成分であるセルロース等木材多糖類を、化学的変換手法を用いて幅広い産業分野で活用可能な素材を開発する。	①採用時に修士又は博士の学位を有する者。任期内にテニユア審査を受けることができる。 ②全国規模の転勤が可能な者 ③セルロース又はヘミセルロースの誘導体化、多糖類からの素材化技術に関する研究実績を有する者 ④勤務地: 研究所(つくば市)